

国民の負託に応える政治を



衆議院議長

森英介

令和8年2月、私は議員各位のご推挙により、第81代衆議院議長に就任いたしました。誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。私は衆議院議長として、国民の負託を受けた国会議員の重大な使命に思いを致し、公正かつ円満な議会運営に全力を尽くす所存であります。

令和6年においては名目GDPが600兆円を超え、高い賃金上昇率が実現するなど、成長と分配の好循環が見え始めてきました。コストカット型経済から脱却し、成長型経済への移行を確実なものとするのが望まれます。

他方で近年、食料品価格などが上昇し、消費者物価指数は高水準で推移してまいりました。そのため、名目賃金は増加しているものの、実質賃金は減少しており、物価の上昇に賃金の引上げが追い付いていません。

こうした中で、令和7年3月、国会は令和7年度予算を成立させ、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」へ移行するため、保育士や教職員の給与改善等に加え、GX投資推進、AI・半導体産業基盤強化等のための財政措置を講じました。

また、同年12月、令和7年度補正予算を成立させ、足元の物価高に対応するため、厳冬期の電気・ガス代支援、物価高対応子育て応援手当の支給等を行うとともに、強い経済を実現するため、危機管理投資・成長投資を推進するための財政措置を講じました。

国際社会に目を転ずると、ロシアによるウクライナ侵略、中東地域における様々な紛争や対立など、課題は山積しています。また、我が国の周辺においては、核・ミサイル戦力を含む軍備増強が急速に進展しており、我が国は厳しい安全保障環境に直面しています。

こうした情勢を踏まえ、衆議院は、国際会議への出席、外国議員団の招待等により、各国の国会議員と交流し、世界の平和と繁栄に向けた議論を深めてまいりました。

令和7年版「衆議院の動き」は、同年における衆議院の主な活動を取りまとめたものです。本誌を通じて、国民の皆さまに国会の活動についての理解を深めていただければ幸いです。今後も国民に「開かれた」「わかりやすい」国会を目指して、皆さまに情報を提供してまいりたいと存じます。